

静岡県鉱工業指数 (平成24年7月分速報)

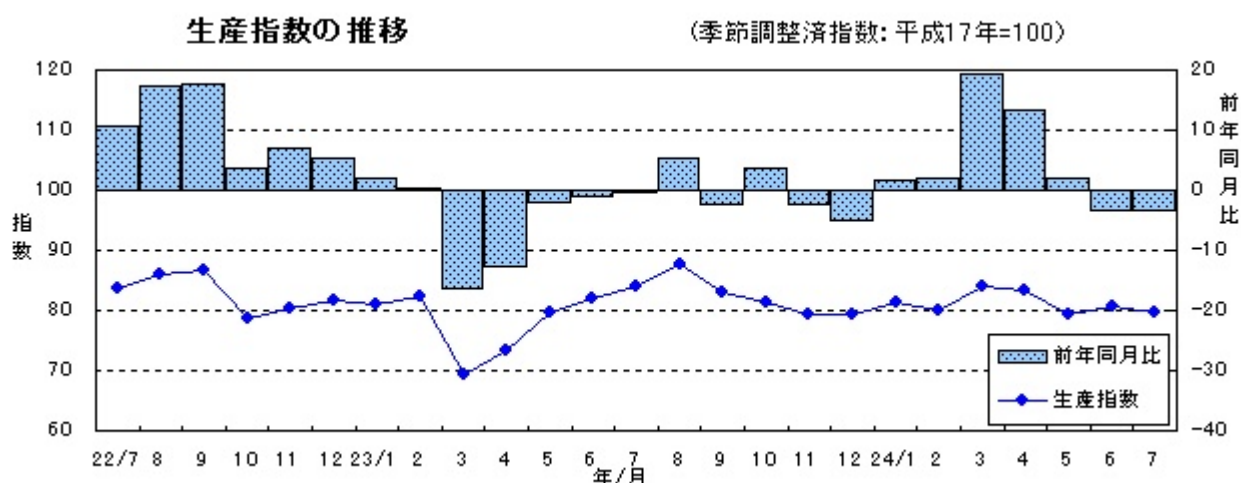
1. 生産の動き

前月比1.2%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比3.3%減(2か月連続して低下)

7月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は79.7であった。

前月比(季節調整済指数)は1.2%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.3%減と2か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、精密機械、その他製品等が上昇する一方、化学、一般機械、食料品・たばこ等が低下した。



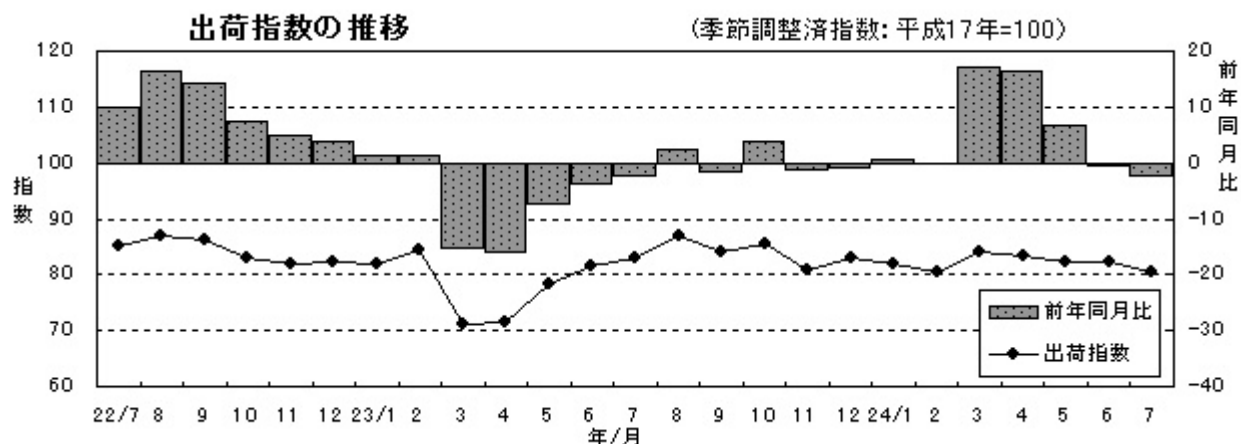
2. 出荷の動き

前月比2.2%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比2.1%減(2か月連続して低下)

7月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は80.3であった。

前月比(季節調整済指数)は2.2%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.1%減と2か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、窯業・土石製品、その他製品等が上昇する一方、化学、食料品・たばこ、一般機械等が低下した。



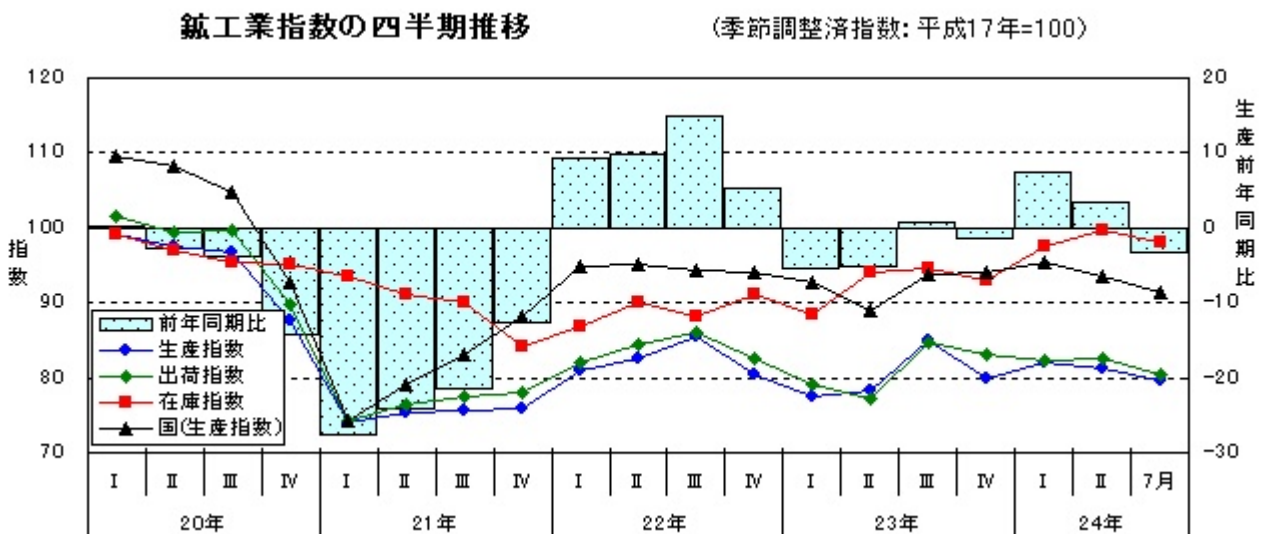
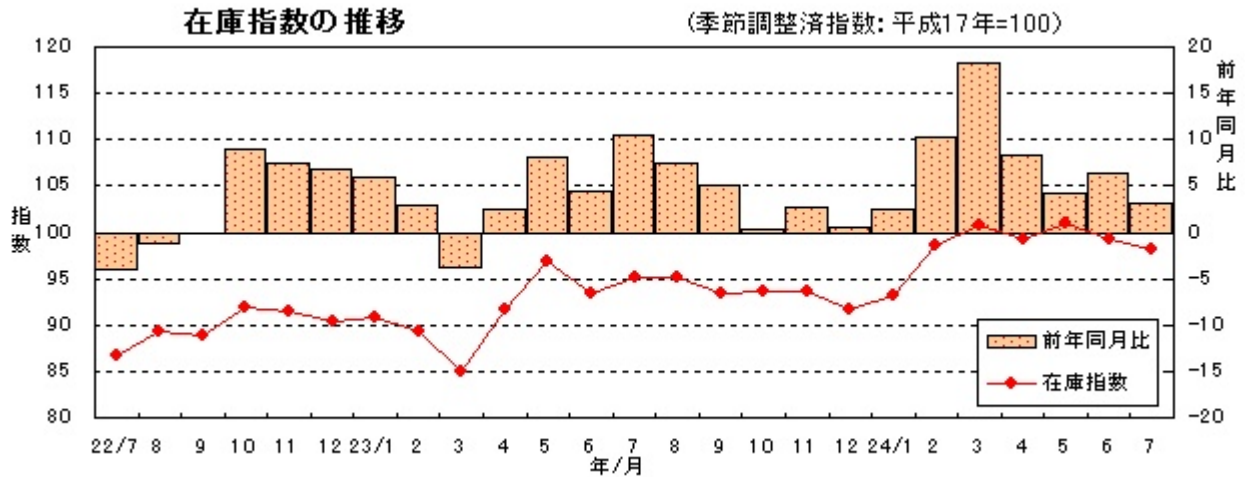
3. 在庫の動き

前月比1.1%減(2か月連続して低下)、前年同月比3.1%増(16か月連続して上昇)

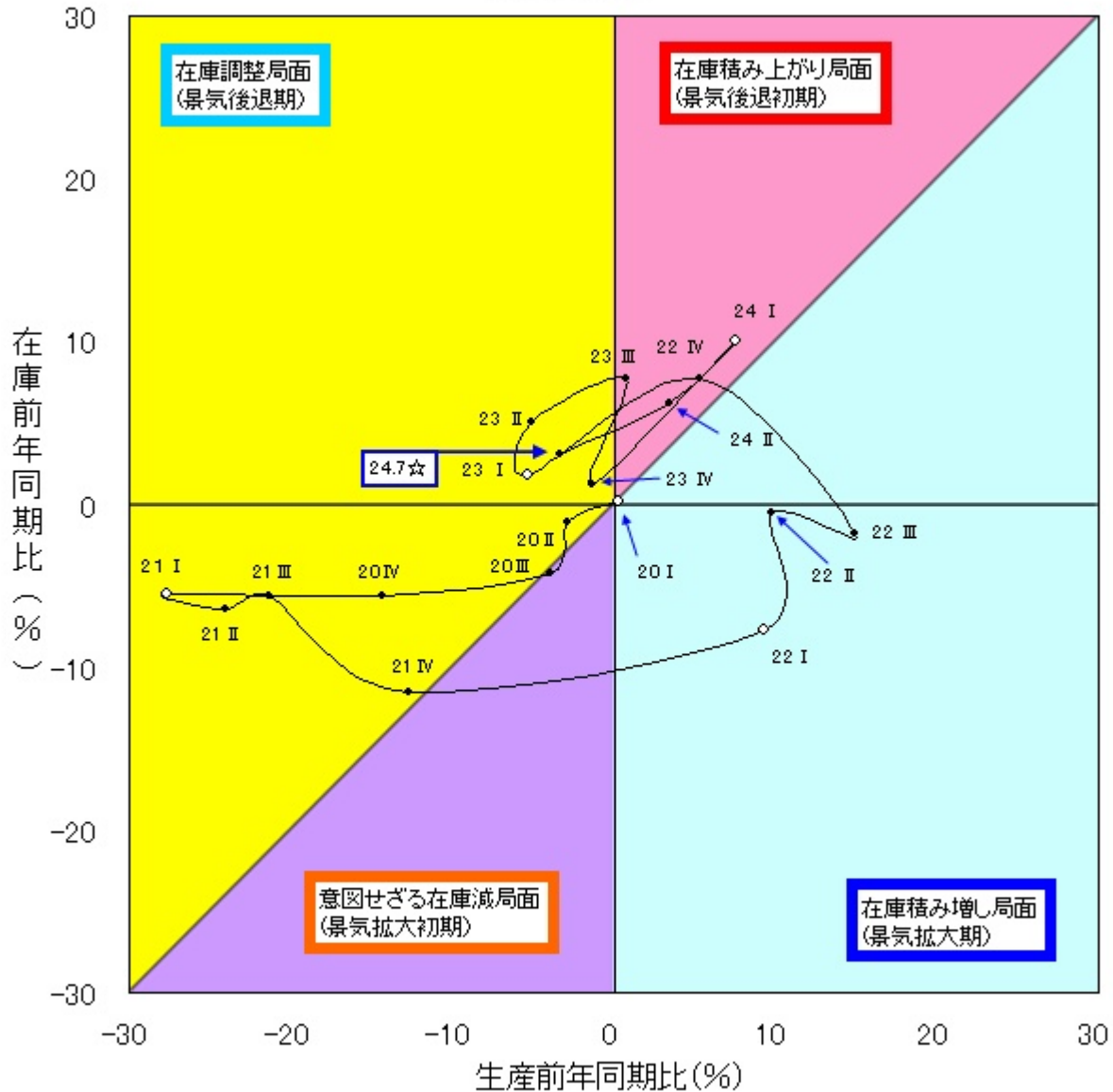
7月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は98.2であった。

前月比(季節調整済指数)は1.1%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は3.1%増と16か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、化学、ゴム製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。



在庫循環図



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ 在庫調整局面 (景気後退期) ← 今月はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。